

公益財団法人 東京市町村自治調査会 2018年度事業報告

去る5月27日(月)、東京自治会館で当調査会の定時評議員会を開催し、2018年度の事業報告及び収支決算報告が承認されましたので、その主な内容を紹介いたします。

【事業報告】

1. 調査研究事業

- ①市町村の広域的・共通的課題についての調査研究 ※詳細は3ページ以降に掲載
- ②市町村職員の身近な疑問等に関する調査
 - ・「かゆいところに手が届く！-多摩・島しょ自治体お役立ち情報-」 ※過去の本誌に掲載
- ③毎年度実施の調査
 - ・多摩地域データブック2018(平成30)年版
 - ・多摩地域ごみ実態調査(平成29年度統計)
 - ・市町村財政力分析指標(平成20年度から平成29年度)
 - ・市町村税政参考資料(平成20年度から平成29年度)

※2009(平成21)～2018(平成30)年度の報告書は、当調査会ホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)にて閲覧・ダウンロードすることができます(一部の報告書を除く)。

2. 共同事業

- ①多摩・島しょ広域連携活動助成事業
- ②多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成事業
- ③オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」
 - ・各市区町村が実施する自然環境保護や地球温暖化防止事業に対する助成
 - ・温室効果ガスの排出量の算定、公表 等
- ④協賛事業「愛らんどリーグ(サッカー大会)」(2018年度は台風で中止)

3. 普及啓発事業

- ①出張フォーラム実施
- ②シンポジウム「人口減少・少子高齢化社会を見据えた多摩・島しょ地域自治体における地域戦略としての多文化共生～経済分野と防災分野の取組から～」開催
- ③情報提供誌「自治調査会 ニュース・レター」発行
- ④機関紙「ぐるり39 ～自治調査会だより～」発行

4. 広域的市民活動への支援(多摩交流センター事業)

- ①交流の場の提供
- ②広域的な市民ネットワーク活動等への助成
- ③生涯学習講座開催(TAMA市民塾との共催)
- ④多摩地域に関する情報の発信 等

【収支決算】(貸借対照表)

| 資産の部 | | 負債・正味財産の部 | |
|------|-------------|-----------|-------------|
| 流動資産 | 141,965千円 | 負債の部 | 39,529千円 |
| 固定資産 | 4,578,381千円 | 指定正味財産 | 3,790,000千円 |
| | | 一般正味財産 | 890,816千円 |
| 合計 | 4,720,345千円 | 合計 | 4,720,345千円 |

※各数値を四捨五入しているため、表内の数値の合算と合計が一致しないことがあります。

2018年度 調査研究報告書の紹介

基礎自治体におけるAI・RPA活用に関する調査研究

1. 背景・目的

本調査研究は、行政課題の解決手段としてAI(人工知能)・RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)が注目されている状況を捉え、自治体職員にAI・RPAの活用について「気づき」を与えるとともに、活用の方向性、課題・進め方を整理し、活用が進んだ後の展望を提示するために実施しました。



2. AI・RPAとは何か

- ・AIは、データを活用して「判断」する技術(高度化)
- ・RPAは、単純な仕事を人に代わり「作業」する技術(自動化)
- ・AI・RPA活用の意義は、「業務生産性の向上」・「住民サービスの向上」×「自動化」・「高度化」の4分類で整理が可能

3. 多摩・島しょ地域自治体はAI・RPAをどう活用すべきか

(1) AI・RPAの活用可能性と方向性

多摩・島しょ地域自治体の全ての行政課題において、解決策の1つとしてAI・RPAは活用できます。そのため、優先順位の高い行政課題を選び、「AI・RPAは課題解決のツール」として認識し検討することが重要です。

(2) AI・RPA活用の課題・進め方

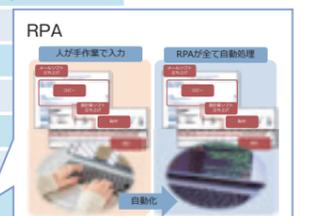
自治体の状況に応じて、「検討に際してのハードル」と「本格導入に向けたハードル」を認識し、「AI・RPA活用の進め方」を参考にしながら、取組を進めていく必要があります。

(3) AI・RPA活用後の自治体への影響と職員の将来像

現在のAI・RPAが職員の仕事を奪うことはないものの、今後段階的に置き換わる可能性があります。また、職員は住民に接する仕事が増え、コミュニケーション能力が重視されます。

<ヒアリング先自治体(9自治体14事例)>

| 分類 | 技術 | 自治体名 | 事例 |
|-------|---------|----------------------|-------------------------|
| AI | 音声認識 | 東京都港区、東京都奥多摩町 | 議事録作成支援 |
| | 音声認識・要約 | 徳島県 | 議事録作成支援・要約 |
| | チャットボット | 東京都港区 | 外国人向けチャットボット |
| | | 京都府南山城村 | 御用聞きAI(チャットボット) |
| | | 徳島県 | 阿波おどりAIコンシェルジュ(チャットボット) |
| | | 民泊AIコンシェルジュ(チャットボット) | |
| | 東京都渋谷区 | AI区民「渋谷みらい」 | |
| 機体制御 | 東京都奥多摩町 | ドローン制御 | |
| 最適解表示 | 東京都北区 | 介護給付適正化業務支援 | |
| | 愛知県豊橋市 | ケアプラン作成支援 | |
| | 大阪府泉大津市 | 戸籍業務支援 | |
| RPA | RPA | 茨城県つくば市、東京都港区 | 業務の自動化(RPA) |



※調査の進展に伴い、当調査研究のタイトルを「AI社会の到来における基礎自治体に関する調査研究」から変更しました。